

列1	大会に出場してみてもの率直な感想 は？	「1位を獲得！」という目標はあなたにとって どんなものでしたか？	今後のあなたの目標を教えてください。	これから先、ARCHERSをどんなチームに していきたいですか。
2年部員	率直な気持ちは、「楽しかった、みんなを感じて出しきれた」という気持ちが大きいです。いままで練習の中でも沢山通してきましたが、大会の一本がいままでやってきたことが全て繋がったと感じて、上記のような気持ちになりました。 また一年生は大会が初めての子もいる中でも、落ち着いて、散漫さず中に集中して取り組めたのかなという風に思います。1位という素晴らしい結果もいただくことができ、21、22代目の良いスタートが出来たのではないかと思います。 演技面では、他チームさんの演技も見させていただいてアームのシャープさ、足元の丁寧さ、フォーメーションの正確さなど、私達に足りていないところを改めて認識し、痛感しました。 スクカレでの演技に決して満足せず、他チームさんの演技も見れたからこそもっと上をみて、完成度を高めてよりNeoらしい演技にしていきたいです。	一位を獲得という目標は私にとって、「みんなと同じ目標に向かって、全員でチームを作り上げる」というものでした。しかし「同じ目標に向かう」という点は出来ていたのかなと思うのですが、「全員でチームを作り上げる」ということがまだ足りていないと思っています。合宿などを経て一定の人だけの練習になっているという課題に、より向き合い改善できた部分もあり少しずつ進歩はしていったと思いますがその後の練習で前の状況に戻ってしまったということがあり、正直な気持ちとしてはまだ全然達成できていないなと感じています。しかし少しずつの進歩が1位に近づいていったと思いますし、このようなことに気づけたのは本気で1位を目指して、1位に向かって突き進んでいたからだだと思います。今回の夏の新人戦では1位をいただくことができましたが、JCDAや冬のUSAとなるとこの進歩の速度や、状態では全国に通用しないと思っています。なのでこの気づきを忘れずに、このことから目を背けず向き合ってこの夏で学んだことを活かして今後練習していきたいです。	2で書かせていただいたことから繋がるのですが、全員でチームを作り上げるということとをまずはマストで出来るようにする為に、今は自分や誰かが意見をみんなに伝えても「はい」だけで終わってしまったり、問いかけているけど返答がなくてそのまま進んでしまうことが練習中にあるので、そこから目を背けずにまずは自分がそこに対してもっと突っ込んで深いところまで追求して「会話」をして全員でチームを作り上げるということをしていけるように、自分は話すことが得意だからこそ、みんなの気持ちや良さを引き出して、その上で全員でチームを作り上げれるようにしていきたいです。また、スクカレで学んだことを10として10やるだけではなく、そこから発展させてより自分たちらしい練習、演技をできるように日々試行錯誤しながらチームと向き合っていきたいです。	この夏「真の本気」をテーマにがむしゃらに様々なことに挑戦し続けてきたと思います。が、「挑戦」に終わりは無いと思っています。2学期以降全国への切符を掴み取るところから始まり、全国1位の目標に進んでいくと思いますが、その中でもいかに挑戦し続けるかが大切になると思います。 守りに入ったら、ただ何事もなく中途半端に進んでしまうだけだと思います。でも気づかないうちにそうになってしまうかもしれない。その時に誰が声をかけるか、チームや個人にアプローチするかというとNeo、normal関係なくARCHERSのメンバー達だと思います。45人もメンバーがいるからこそ、様々な視点があると思うので一人一人がARCHERSを見続けて、支え合える、声をかけあえるようなチームにしていきたいです。また、まだ本当のハートを射抜く演技をできていないと私は思います。ARCHERSらしい演技とは、ハートを射抜く演技とはどのような演技なのか。そこに対して妥協することなく追求していけるチームにしていきたいです。
1年部員	ARCHERSとしての初めての大会は、自分が想像していたよりも緊張することがあまりなく、いつも通りの気持ちで演技にのぞむことができましたと思います。自分なりになぜ緊張せずに踊れたのかを考えた時に、普段の練習の量や、たくさん悩んで考えてきたことに自信を持っていたからだと思いました。チアにこんなに向き合って、こんなに踊りこんだのは初めてで、それが私の強い自信になったと感じます。チアは気持ちが出やすい競技ですが、それがいい方向に転んで結果も出てよかったです。またそれは私個人のおかげでは決してなく、チームメイトや先生方、コーチや保護者・OGの方々、など数え切れないほどの人に支えていただいたからであって、その感謝もしっかり結果で伝えられて嬉しかったです。 この結果に慢心せず、いい所ダメだった所それぞれピックアップし研究し、次の大会へしっかり繋げるまでがスクカレだと思うのでそこは意識を絶やさずにやっていきます。	1位を獲得するためにARCHERSにきたので、確実に達成したかった目標です。だけどその目標を達成するには思っていたよりもすごく難しく、厳しかったもので、気持ちが折れそうになったことも行き詰まったことも何度もあったけど、その先にある結果なんだと今回で分かりました。	このスクカレの結果で慢心せず、詰めていける要素が技術面でもチーム面でも本当にまだまだたくさんあると思うのでそこから目を逸らさずにどんどんチームを創っていききたいのと、次の大会からはDivision Championがかかってくる大会になってくると思うので、全て1位とチャンピオンを獲得することが大きな目標です。	全員が同じ高い熱量で目標と目の前の1本に集中し、応援し合えるチームにしたいです。 またチームとしても個人としても考えることとレベルアップを止めず成長し続けるチームにしたいです。

列1	大会に出場してみても率直な感想は？	「1位を獲得！」という目標はあなたにとってどんなものでしたか？	今後のあなたの目標を教えてください。	これから先、ARCHERSをどんなチームにしていきたいですか。
1年部員	すごく楽しかったです！大会会場来てからスタンバイまではワクワクと緊張の気持ちがしていたけど、演技が始まったあとはひたすら楽しくて今までで一番体が軽かったです！今までの練習、夏合宿、5本通しも全力で取り組んで来て良かったなと思いました。終わったあとみんなの顔が見たことないくらいニコニコで輝いてて可愛かったです！	入部して最初の方はスクカレというものが想像できてなくて1位を取れるチームとはというのが分からないまま練習をしまっていた自分がいたけど、3年生の予選を見たあたりから本格的に自分が憧れのアーチャーズに入って踊れるんだと実感することができました。夏合宿で少しにチームというのがわかってきて自分だけに矢印が向いていたのが自分がチームに何ができるのかなど少し視野を広く持てるようになった。1位を取ると言う事に関しては1位を取るために努力すると言う感じで結果だけにこだわるのではなくて努力した結果1位を取れた。という方向に持っていくようにしていました。本番前には審査員の方々のハートを射抜いてやるという気持ちが大きかったです！	次の大会からはスクカレよりも他のチームのレベルが上がっている分私がチームの底上げに貢献してarchersneoが全国1位という私にとってはまだまだ想像ができない目標も自信を持って達成できると言えるようになりました。今回ドロップなしという目標を掲げていたのにも関わらずドロップせざるを得ない実力までしか伸びなかったのは自分の努力不足でしかないと思うので、もっともっと隙間時間を利用して止まっている時間なんて無くなるくらい挑戦し続けていきたいです。まだまだ知らない技もやること自体が怖い技も沢山あるけど失敗を恐れずもっともっとチームメイトを頼って成長し続けていきたいです。りかさん、さきさん、清水先生、山崎先生、OGの方々が満場一致で「誰よりも成長した」と言っていただけに限界を超えていきます。	NEO、NORMAL関係なくもっとコミュニケーションを増やして全員が全員を頼れるチームにしたいです。そのためにもっと自分から技を見てもらったり練習中に感じていることや悩みを聞き合ったりする機会を増やしていきたいです。今回スクカレ1位を獲得するという目標を掲げているときにチーム内で意識の差があるという壁にぶつかることがあって、身近なところから不安を潰して全ての行動が目標であるスクカレ1位に繋がっている意識を持つ大切さを学んだので、これから先の各大会、文化祭などの活動でも忘れないように意識していきたいです。大会で強いチームはフォーメーションが後ろでも前でも関係ないくらい全員がいちばん上の人に合わせているのが伝わってくるから、ARCHERSも他のチームに後ろも関係ないくらいうまいチームだと思われるようにしたいです！
2年部長	演技前の空気感が本番の1本を迎える上でとても大切だと感じた。 前日の大会をイメージしたメニューから出た反省をチーム全体で修正し、創ることが出来た空気感をそのまま演技に繋ぐことができた。 1日中全員が15人に矢印を向けられていたからこそ、演技もこの夏1番みんなで繋がれた1本だったし、心の底から楽しめた演技だった。	1位を獲得！過程がチームも自分自身も強くしてくれた。 1位を獲得！ための鍵は一人一人できることがあっても、しっかりと段階を踏んでいくこと。 今のNormalは目にみえるできるが多かったからこそ、中身をとばして高望みをしてしまっていた。だから、チームもずっと表面上のままだった。チームも技術も興味を持って、一人一人のできる！の過程を知り、理解することが大切。 そして、満足して終わらせないこと。成功を経験することはいいことだけど、完璧正解はないから成功も認めて、段階を踏んで積み重ねる。	個のレベルをあげ、自分の姿勢からチームを巻き込む存在になる。 一人一人の変化、頑張りも観て気づき、みんなの良さ、自信をもっと引き出したい。 周り、自分の成長に繋げ、チーム全体の力を高めていく。	この夏、たくさんの人に支えていただいていることに改めて気づけたからこそ、周りへの感謝を忘れず、行動で返していく。 そして、何事にも自分たちだけで完結ではなく、周りを巻き込み全ての人に笑顔や感動を届けられるチームでありたい。